

事業番号	02 06 02	事業改善シート（令和4年度実施事業分）				□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検		
事業名	鉄道振興対策事業費	部局	企画振興部	課・室	交通政策課			
		実施期間	S42 ～	E-mail	kotsu@pref.nagano.lg.jp			
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係								
重点目標	④観光消費額		⑦健康寿命					
総合的に展開する重点政策	3-8 生活を支える地域交通の確保		3-9 本州中央部広域交流圏の形成		5-1 多様性を尊重する共生社会づくり			

1 現状と課題

- 各鉄道路線の利用率、利便性の向上及び県内鉄道路線の維持
- 施設の老朽化対策や駅のバリアフリー化による安全・安定輸送、誰もが生活に必要な移動ができる交通手段の確保

2 事業目的

鉄道の利用促進や活性化への取組に参画するとともに、鉄道事業者が行う安全性向上対策や駅舎のバリアフリー化のための設備整備等に対する支援を通じて、地域公共交通の基幹的役割を担う鉄道の利用促進、安全性・サービス向上を図り、鉄道の維持と住民の足を守る。北陸新幹線の大阪までの早期全線開業を促進し、県民の利便性向上を図る。

3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

- ①安全・安定輸送の確保及び駅舎バリアフリー化の推進のため、必要な設備整備を支援**
 - 鉄道路線の安全性向上のため、必要な設備整備に対して補助等の支援を実施
 - 移動円滑化による利便性向上のため、鉄道駅におけるエレベーター等の設置に対して補助を実施
- ②沿線自治体等で構成する同盟会等と協働し、利用促進活動や要望活動を実施**
 - 各路線の沿線自治体等で構成する活性化組織参画し、沿線自治体の活性化等を図るため、利用促進事業や要望を実施
- ③地域鉄道動力費高騰対策等経営支援事業**
 - コロナ禍において原油価格高騰の影響を受けた地域鉄道事業者の運転用動力費に要する経費を助成し、経営を支援

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R4年度 目標値	達成 状況	設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	県内鉄道キロの維持	km	788.5	788.5	→	788.5	→	788.5	達成	県民の移動と地域間交流を支える鉄道の安全・安定運行を維持するため成果目標として設定し、R4年度も現状維持を目標とした	
②	鉄道施設の老朽化、設備不良に起因する重大事故の発生	件	0	0	→	0	→	0	達成	県民の移動と地域間交流を支える鉄道の安全・安定運行を維持するため成果目標として設定し、引き続き発生件数0を目標とした	
③	平均利用者が3,000人/日以上等の駅におけるエレベーター等整備率	%	91.3	95	↗	94.4	↘	94.4	達成	国の基本方針で令和7年度末までにバリアフリー化する基準に該当する駅について、令和7年度末までに整備率100%にするため、R4年度時点は整備率94.4%を目標とした	
④	（参考指標）平均利用者が3,000人/日以上等の駅におけるエレベーター等設置駅数	駅	21	19	↘	17	↘	—	—	※本指標が減となっているのは、設置数の減によるものではなく、各駅の平均利用者数について毎年度変更があることによるもの	
⑤	（参考指標）エレベーター等設置駅数（平均利用数が3,000人/日未満等の駅）	駅	13	16	↗	20	↗	—	—		

5 事業コスト

（単位：千円）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R4年度	108,292	382,028	148,786	639,106	304,106	542,356	3.0
R3年度	0	466,653	331,740	798,393	212,013	667,316	3.0
R2年度	254,507	499,239	52,482	806,228	168,217	798,738	3.0

事業番号	02 06 02	事業改善シート（令和4年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	鉄道振興対策事業費		部局	企画振興部	課・室	交通政策課

6 主な取組実績と成果

①安全・安定輸送の確保及び駅舎バリアフリー化の推進のため、必要な設備整備を支援

・地域鉄道事業者（長野電鉄(株)、しなの鉄道(株)、上田電鉄(株)、アルピコ交通(株)）が行う、車両更新、マクラギPC化等の鉄道の安全性を確保するために必要な設備整備や維持修繕に対して支援を実施した。

（県補助総額：350,792千円）



アルピコ交通(株)車両更新



エレベーター設置(しなの鉄道線戸倉駅)

・移動円滑化による利便性向上のため、鉄道駅におけるエレベーター等の設置に対して補助を実施、令和5年3月より供用を開始。

（R4年度対象：しなの鉄道線戸倉駅、県補助額：10,000千円）

②沿線自治体等で構成する同盟会等と協働し、利用促進活動や要望活動を実施

・県内各路線（JR、民間鉄道）の沿線自治体等で構成する活性化組織に参画し、啓発、広報、利用促進活動や要望を実施。



『大系線「鉄道×温泉」湯めぐり手形すたんぷらりい』
（大系線利用促進輸送強化期成同盟会）



同盟会等による国への要望活動



・沿線都府県で構成する「北陸新幹線建設促進同盟会」により、北陸新幹線の敦賀以西における早期着工、早期開業を国等に対しての要望活動（R4年度は計4回実施）や、パンフレットの作成、公式SNSによる広報、機運醸成イベントを開催。

③地域鉄道動力費高騰対策等経営支援事業

・原油高騰の影響を受け厳しい経営環境にある地域鉄道事業者（長野電鉄(株)、しなの鉄道(株)、上田電鉄(株)、アルピコ交通(株)）の負担軽減と運行の確保を図るため、運転用の動力に要する経費を支援した。（県補助総額：80,669千円）

7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	県内鉄道キロの維持	R3年度推移	→	R4年度推移	→	達成状況	達成
鉄道キロの維持に向けて、県内各路線の活性化組織に参画し、利用促進や要望を実施した							
指標②	鉄道施設の老朽化、設備不良に起因する重大事故の発生	R3年度推移	→	R4年度推移	→	達成状況	達成
鉄道路線の安全性向上のため必要な設備整備への支援を県内地域鉄道事業者4社に対し実施した							
指標③	平均利用者数が3,000人/日以上等の駅におけるエレベーター等整備率	R3年度推移	↗	R4年度推移	↘	達成状況	達成
対象駅の整備はR5年度に実施予定のため、R4年度は未実施							

8 今後の事業の方向性

(1) 令和4年度の実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・県内各鉄道路線の利用率、利便性向上
- ・施設の老朽化対策や駅のバリアフリー化による安全・安定輸送や移動等円滑化の確保

(2) 翌年度以降の事業改善の方策

- ・県民の移動と地域間交流を支える鉄道の利用率向上を図るため、同盟会をはじめとした各沿線活性化組織とともに協働して利用促進等に努める。
- ・鉄道事業者が行う鉄道の安全性確保、駅舎バリアフリー化への支援について、事業者からの要望に応じヒアリングの回数を増やすなど、丁寧に対応しながら車両更新や設備整備への支援を行う。

事業番号	02 06 02	細事業一覧（令和4年度実施事業分）	□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検			
事業名	鉄道振興対策事業費		部局	企画振興部	課・室	交通政策課

細事業No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
1	鉄道振興対策事業費	653,205 千円	665,516 千円	540,556 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	地域鉄道安全性向上支援事業費補助金	補助金	鉄道路線の安全性向上のため、必要な設備整備に対して補助を実施 補助対象事業者：長野電鉄(株)、しなの鉄道(株)、上田電鉄(株)、アルピコ交通(株) 補助額：350,792千円（前年度繰越分含む）	
2	利用者にやさしい駅舎の整備事業補助金	補助金	鉄道駅におけるバリアフリー化促進のため、必要なエレベーター等の設置に対して補助を実施 補助対象事業者：しなの鉄道(株) 補助額：10,000千円	
3	大糸線利用促進輸送強化期成同盟会負担金	負担金	大糸線利用促進輸送強化期成同盟会の構成員として、要望活動、啓発、広報、利用促進活動を実施 JR西日本へ要望活動（10月）、JR東日本へ要望活動（1月）等 負担額：150千円	
4	中央東線高速化促進広域期成同盟会負担金	負担金	中央東線の高速化促進、利便性向上、沿線地域の振興を目的に関係団体と連携・協力し事業を実施 JR東日本・国に対する要望活動（11月）等 負担額：200千円	
5	大糸線活性化協議会負担金	負担金	大糸線の活性化を図るため、関係自治体と鉄道事業者が相互に連携し利用促進に関する取組活動を実施 SNSなどでの利用促進の情報発信（1月～3月）、「鉄道×温泉」湯めぐりスタンプラリー（11月～12月）、サイクルトレインの実施（9月～11月）等 負担額：500千円	
6	アルピコ交通上高地線橋梁復旧支援事業補助金	補助金	令和3年8月の大雨により現在一部不通となっていたアルピコ交通(株)上高地線の早期復旧を図るため、被災した田川橋梁の復旧に要する経費に対し支援を実施 補助対象事業者：アルピコ交通(株) 補助額：53,895千円（前年度繰越分）	
7	地域鉄道動力費高騰対策等経営支援事業交付金	交付金	原油高騰の影響を受け厳しい経営環境にある地域鉄道事業者の負担軽減と運行確保を図るため、運転用の動力に要する経費に対し支援を実施 補助対象事業者：長野電鉄(株)、しなの鉄道(株)、上田電鉄(株)、アルピコ交通(株) 補助額：80,669千円	
8	被災地域鉄道代替輸送支援事業	補助金	令和3年大雨災害により一部不通となったアルピコ交通(株)上高地線の移動手段を確保するため、代替輸送に係る経費に対し支援を実施 補助対象事業者：アルピコ交通(株) 補助額：44,350千円	

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
2	北陸新幹線建設促進費		1,800 千円	1,800 千円	1,800 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	北陸新幹線建設促進同盟会負担金	負担金	北陸新幹線の早期建設の実現を強力に推進することを目的に、沿線都府県等により要請活動、建設促進に関する調査研究及び広報等を実施 建設促進等に係る国等への要請活動（5月、8月、11月、12月）、公式SNSによる広報（随時）、機運醸成イベントの開催（8月、10月、11月）等 負担額：1,800千円		

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
3	しなの鉄道設備投資等借入金損失補償		債務負担行為（元金 2,100,000千円及びこれ に対する利息（遅延 利息を含む）相当額並 びに補償履行日までの利 息） 千円	債務負担行為（元金 1,650,000千円及びこ れに対する利息（遅延 利息を含む）相当額並 びに補償履行日までの利 息） 千円	債務負担行為（元金 1,330,000千円及びこ れに対する利息（遅延 利息を含む）相当額並 びに補償履行日までの利 息） 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	しなの鉄道設備投資資金等借入金 損失補償	直接	しなの鉄道の設備投資資金等借入金の金利負担を軽減するため、県が損失補償 を実施 事業者の要請に基づき損失補償を実施（3月）		